

# コスモス病院 放射線部便り

No.5 2018.10

近年、運動不足や肥満、食生活の欧米化により高脂血症、糖尿病等生活習慣病が増加傾向にあります。それに伴い閉塞性動脈疾患の患者数も増加の一途をたどっています。間歇性跛行や足の冷え、しびれ、足の血色が悪いなどの症状がありましたら、**ABI検査**をお勧めします。

## 末梢閉塞性動脈疾患：PAD

PADの治療ガイドライン(添付資料)では、PADを疑う症状及びABIの低下(0.9以下)が見られる場合、血管造影・造影CTA・**非造影MRA**などで検査を行います。

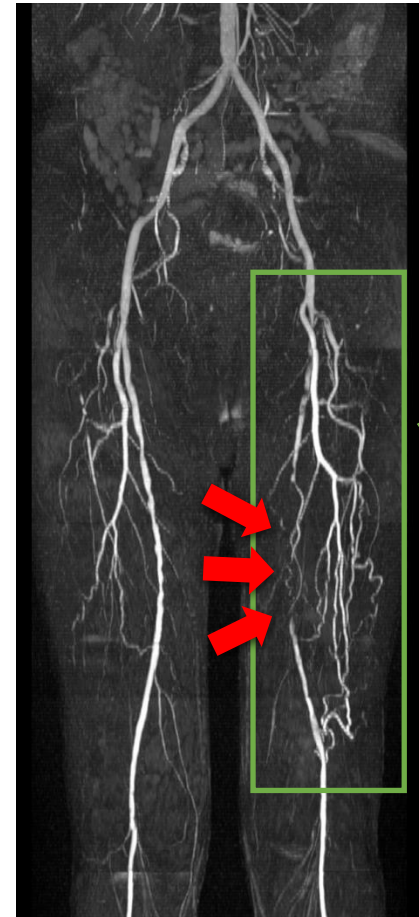
当院のMRI装置では、広範囲を短時間で高分解能撮影ができます。PADを疑う場合は、ペースメーカーなどMRI禁忌の方以外は積極的に非造影下肢MRAを行っています。

そこで今回は、**非造影下肢MRA**についてご紹介させていただきます。

## 非造影下肢MRAとは？

血管造影・CT検査のような**被ばくはありません**。また、**造影剤を用いない**ため腎機能障害のある方にもおすすめです。時間は約30分です。

## 実際の非造影下肢MRA画像



左の画像は、ABIの値が右：0.841 **左：0.77**の方の画像です。

**左の浅大腿動脈(→)で一部途絶**が見られます。しかし、側副血行路が形成されており、血管描出が良好なため、この方は経過観察となりました。

※動きの激しい方や頻脈性不整脈のある方は検査困難となる場合があります。

\*CT・MRIの機能や撮影画像について、情報提供を定期的に行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

不明な点がございましたら、放射線部までご連絡お願いたします。

コスモス病院 放射線部  
放射線部直通番号 86-5232

